

令和3年度 横浜市立四季の森小学校 学校だより  
このまちに生き、共に輝く子

ねばり強く取り組む子 思いやりのある子 命を大切にする子 地域に愛着をもつ子 社会への視野を広げる子



# 四季の森

1月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>



## 2022年 四季の森小の「パワフル大作戦！」



校長 笹原 洋子

2021年の振り返りとして、12月に実施した6年生の日光修学旅行のことを紹介します。

6年生は「底力」を学年目標に、4月から活動を重ねてきました。この修学旅行でさらに子ども達に求めたのは「切り替え力」と「先読み力」でした。そして、みんなで楽しむ修学旅行を目指しました。

1日目の夜の班長会議で班活動の振り返りをしていました。うまくいかなかったことも班長から出てきます。そして、先生からの「今日できなかったことを、明日はできるように工夫しよう。」という言葉で班長会議が締めくくられました。消灯時間の10分前まで部屋レクで盛り上がっていましたが、それ以前の間隙時間に先を読んで寝る準備を済ませていたので、気持ちを切り替えて、時間通りに消灯することができました。2日目、班長は課題を解決しようと工夫していました。班員も協力しようという意識が高まっています。それでも、「班員が言うことを聞いてくれない。」と担任に相談に来る班長もいました。話を聞いたあとに担任が「先生から話そうか？」と聞くと、「もう少しやってみる。」と友達のところへ行きました。四季の森小の最上級生がしっかり成長していることが伝わってきた2日間でした。6年生以外にも子ども達が着実に成長した2021年が幕を閉じました。



2022年が始まりました。新年あけましておめでとうございます。

今年の箱根駅伝は「パワフル大作戦」を掲げた青山学院大学が完全優勝を果たしました。その駅伝をテレビで観戦しながら、今年の四季の森小のことを考えました。

2022年、子ども達一人ひとり、そして教職員一人ひとりの「やってみよう！」が実現できる学校にしていきたいと思いました。やってみようことを見つけることは意外と難しいことです。ぜひ、保護者の皆様にも子ども達の「やりたこと探し」へのご協力をお願いします。さらに、やり遂げることはもっと難しい。失敗することもあるかもしれませんが、それでへこたれることなく、工夫して自分の希望をかなえていける、そんな「パワフルさ」を子ども達に育てていきたいと思っています。

もう一つ、人間関係などのトラブルを乗り越える力も育てたいと思います。自分が嫌だと感じたこと、困ったことを伝えて解決していく力はこれから生き抜くために必要な力だと思います。時間が解決してくれるのを待つだけでなく、自分で解決に向かって努力する経験をさせることが大切だと考えます。心配もあると思いますが、四季の森小の素直な子ども達と、子ども達に向き合っている教職員を今後も信頼してください。教職員は保護者と連携し子ども達を支えていきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。